令和８年度

第１回鈴鹿市社会教育委員の会　資料

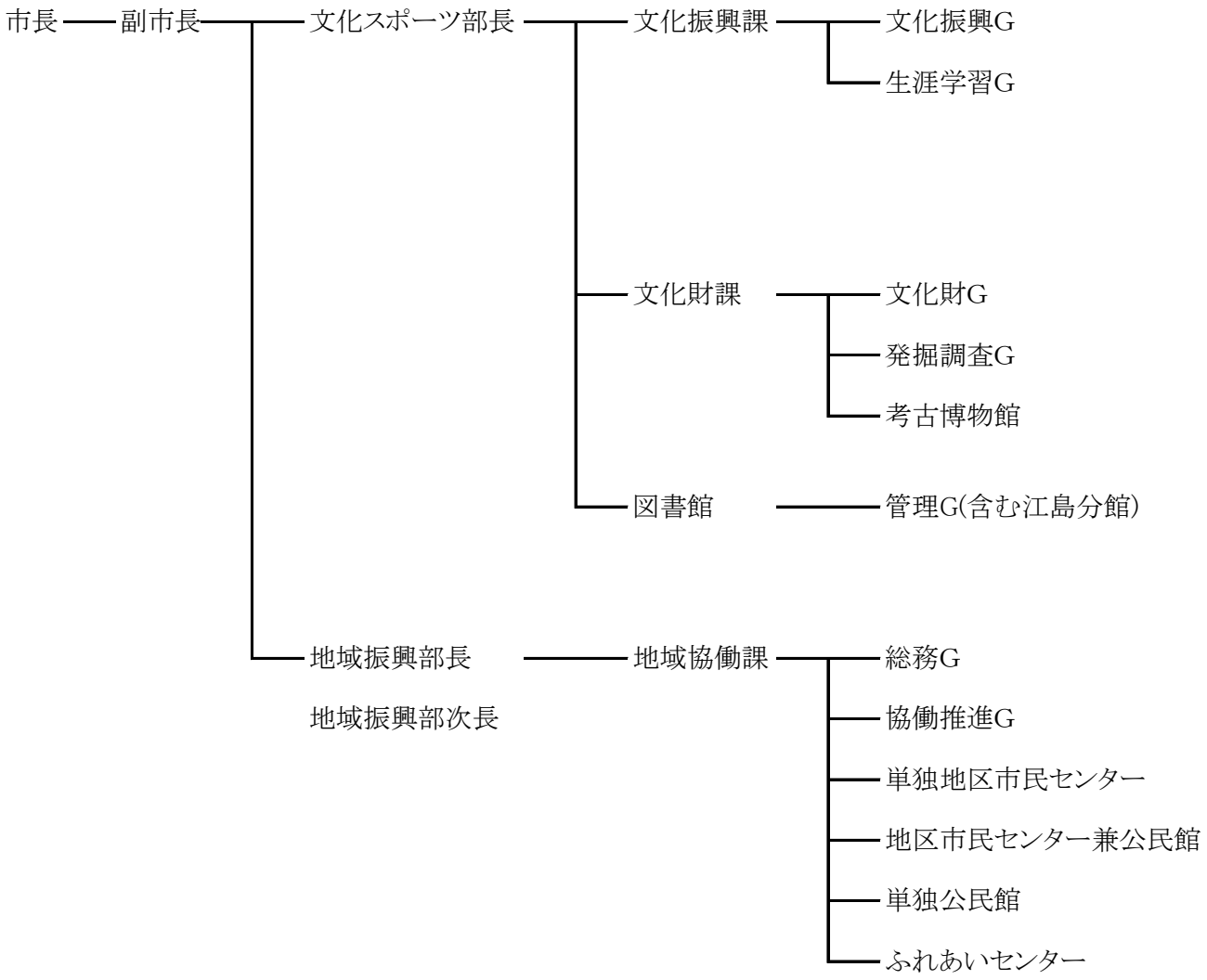
令和8年8月6日

社会教育部門

目　　次

			ページ
1	社会教育部門組織図	・・・	1
2	文化振興課	・・・	2
3	文化財課	・・・	4
4	図書館	・・・	6
5	地域協働課	・・・	8
6	社会教育基本計画2031	・・・	10

1　社会教育部門組織図


市長
副市長
文化スポーツ部長
文化振興課
文化振興G
生涯学習G
文化財課
文化財G
発掘調査G
考古博物館
図書館
管理G(含む江島分館)
地域振興部長
地域振興部次長
地域協働課
総務G
協働推進G
単独地区市民センター
地区市民センター兼公民館
単独公民館
ふれあいセンター

文化スポーツ部 文化振興課

1 職員数

令和8年6月1日現在

職名 / グループ名	事務		技術	その他職員			パートタイム雇用	計
	事務	教員	電気	学芸員	司書	その他		
課長	1							1
文化振興グループ	2						1	3
生涯学習グループ	2	1						3
計	5	1						7

2 事務分掌

グループ	事務内容
文化振興グループ	○文化政策の総合的企画及び調整に関すること ○文化行政の調査研究に関すること ○文化振興事業の企画及び実施に関すること ○文化情報の提供に関すること ○文化関係団体に関すること ○(公財)鈴鹿市文化振興事業団に関すること ○市民会館に関すること ○文化会館に関すること
生涯学習グループ	○社会教育委員に関する事務の補助執行 ○社会教育関係団体に関する事務の補助執行 ○生涯学習の推進に関する事務の補助執行

３ 令和8年度主要事業

項　　目	概　　要	備　　考
市民学習活性化事業費	市民アカデミー「まなべル」 　市内高等教育機関３校・企業等と連携し、市民に学びの楽しさを提供するとともに、学習意欲の向上を図るために開講する。 ・鈴鹿大学　　２講座 ・鈴鹿医療科学大学　　２講座 ・鈴鹿工業高等専門学校　２講座 合計６講座　各講座定員50名 特別講座 ・夏休み絵画教室　　１講座 定員50名 ・考古博物館特別展関連講演会 ２講座 定員各50名 ・東洋大学オンライン講座 １講座 定員100名 【予算額】603千円	実行計画 1-①
鈴鹿市二十歳のつどい事業費	対象者：2,021人　令和８年4月1日現在 （平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの方） 開催日：令和９年1月10日（日） 場　所：イスのサンケイホール鈴鹿 式典内容は対象者の中から公募する「二十歳のつどい実行委員会」と協議のうえ決定する。 【予算額】2,274千円	実行計画 1-②
社会教育関係団体等支援費	下記5団体が実施する青少年健全育成事業等に対し、事業費の一部を補助する。 ① 鈴鹿市青少年育成市民会議 ② 鈴鹿市子ども会連合会 ③ 日本ボーイスカウト鈴亀地域連絡協議会 ④ 鈴鹿ジュニアリーダー会 ⑤ 鈴鹿市生活学校 【予算額】2,273千円	実行計画 1-③
地域家庭教育支援事業費	①放課後子ども教室 （文部科学省所管） 　地域住民の協力を得て、各小学校区における放課後のこどもたちの安全安心な居場所づくりのため、公民館等を主会場に５小学校区（清和・郡山・明生・井田川・河曲）で実施する。 ②土曜体験学習 　地域住民の協力を得て、こどもたちの土曜日における多様な学習環境づくりのため、１小学校区（鼓ヶ浦）で実施する。 ③親なびワーク 　家庭教育支援として、保護者等を対象とした訪問型ワークショップを開催する。 【予算額】3,330千円	実行計画 1-④ 1-⑤

文化スポーツ部 文化財課

1 職員数

令和8年6月1日現在

職名 / グループ名	事務		技術	その他職員			パートタイム雇用	計
	事務	教員	電気	学芸員	司書	その他		
課長	1							1
文化財グループ	3			2			14	19
発掘調査グループ	5						5	10
考古博物館	4			1		1	6	12
計	13			3		1	25	42

2 事務分掌

グループ	事務内容
文化財グループ	○文化財の指定に関すること ○文化財の調査、保護及び活用に関すること ○文化財関係団体に関すること ○文化財関係施設に関すること ○鈴鹿市文化財調査会に関すること ○埋蔵文化財の発掘等調査に関すること
発掘調査グループ	○埋蔵文化財の発掘等調査に関すること ○出土遺物等の整理に関すること ○伊勢国府跡の整備に関すること
考古博物館	○考古博物館の管理運営に関すること ○考古博物館の観覧料及び使用料の徴収に関すること ○考古博物館の企画及び統計に関すること ○考古博物館の広報宣伝に関すること ○考古博物館資料の寄贈寄託に関すること ○考古博物館の施設の使用許可に関すること

３ 令和8年度主要事業

項　　目	概　　要	備　　考
一般文化財保存事業費／伊勢型紙技術保存事業費	重要無形文化財「伊勢型紙」の技術保存、後継者育成に係る事業補助等を行う。 また、全国重要無形文化財保持団体及び関係する市町村が協調し、重要無形文化財の技術伝承と保存活用を図るため、全国重要無形文化財保持団体協議会の会長市として事務局運営を行う。 【予算額】１，００４千円	実行計画 4-②
一般文化財保存事業費／一般文化財保護事業費	文化財の保存を図るため、現況調査を実施するとともに、指定文化財の管理補助等を行う。 【予算額】１３，０４４千円	実行計画 4-②
一般文化財活用事業費	「郷土（地域）資料」「貴重資料等」のデジタル化に伴うデジタルデータの公開事業を実施する。 資料をデジタル化することで、ウェブアクセシビリティを確保するとともに、収蔵品の保存と活用をより効率的に行う。 【予算額】２，４６８千円	実行計画 5-④
遺跡調査費	史跡伊勢国府跡（広瀬町）の規模や構造等を明らかにするための調査を実施する。 また、市内遺跡の保存と活用を図るため発掘調査を実施する。 【予算額】１４，０３７千円	実行計画 4-⑤ 4-⑥
資料館等特別展事業費	郷土資料の保存及び活用を図り、文化財に触れる機会の充実のため、記念館、資料館において特別展を開催する。 【予算額】２，６５６千円	実行計画 5-①
管理運営費	考古博物館の管理運営にかかる費用。 【予算額】３７，２３６千円	実行計画 5-③
博物館事業費	博物館資料の活用を図り、郷土の歴史や考古学への関心と理解を深めてもらうため各種事業を実施する。 ①特別展 「いにしえの絵画展―なにが描かれているのかな？」 ②企画展 「地域の歴史を学ぼう！―加佐登地区編―」 ③速報展 「発掘された鈴鹿２０２６」 ④講演会 ・寺院・官衙シリーズ講演会 ・博物館入門講座 ・遺跡の歩きかた ⑤体験講座 ・勾玉作り ・天平衣装を着てみよう！、つるカゴ作り、草木染め、とんぼ玉作り ・こども体験博物館、ゴールデンウィーク、夏休み、シルバーウィーク ・伊勢国分寺まつり２０２７ ・出前講座 【予算額】５，６４０千円	実行計画 5-① 5-② 5-③

文化スポーツ部 図書館

1 職員数

令和8年6月1日現在

職名 / グループ名	事務			その他職員			パートタイム雇用	計
	事務	教員	電気	学芸員	司書	その他		
館長	1							1
管理グループ	4				12	3	11	30
計	5				12	3	11	31

2 事務分掌

グループ	事務内容
管理グループ	○図書館の企画及び運営に関すること ○図書館の館内利用に関すること ○図書館の館外利用(配本、貸出し等)に関すること ○図書館資料の収集及び除籍に関すること ○図書館の関係団体に関すること ○江島分館に関すること ○鈴鹿市立図書館協議会に関すること ○施設及び設備の維持管理に関すること

3 令和8年度主要事業

項　　目	概　　要	備　　考
維持修繕費	本館の維持修繕を行う。 【予算額】38,720千円	実行計画 2-⑤
施設管理費	本館施設及び設備の保守点検を行う。 【予算額】13,375千円	実行計画 2-⑤
運営・サービス事業費	①　図書館の運営に係る経費 図書館の運営をするために要する消耗品、備品購入等に係る経費 ②　図書館システムの運用及び保守 よりよい図書館サービスを提供するために用いている「図書館システム」の運用保守経費 ③　図書館協議会の運営 図書館協議会の運営をする。 ④　各種イベントの実施 図書館の利用を促進し、利用者の増加を図るため各種イベントを実施する。 ⑤　電子図書館の運用 24時間365日電子書籍の提供ができる電子図書館の運営及び利用促進をする。 【予算額】21,465千円	実行計画 2-② 2-③ 2-④ 2-⑤
図書購入費	利用者の学びと課題解決を行うために、利用者のニーズを考慮し、各分野間のバランスを図った選書を行ったうえで、図書資料を購入する。 【予算額】18,880千円	実行計画 2-① 2-②
地域サービス事業費	地域住民の読書習慣を推進し、利便性の向上を図るため次の事業を実施する。 ①　配本事業 公民館、ふれあいセンター及び農村環境改善センターに図書資料を配本・配架を実施する。 ②　ふれあいライブラリー事業 公民館及びふれあいセンターにおいて、図書資料の貸出・返却、予約・相談及び個人貸出カードの交付申請を実施する。 【予算額】375千円	実行計画 2-②
分館費	江島分館の管理運営に係る経費 【予算額】9,643千円	実行計画 2-② 2-③ 2-⑤
ボランティア活動事業費	図書館ボランティア活動に係る経費 【予算額】60千円	実行計画 2-⑤

地域振興部 地域協働課

1 職員数

令和8年6月1日現在

職名 / グループ名	事務		その他職員			パートタイム雇用	計
	事務職員	労務員	館長(非常勤)	司書	その他		
課長	1						1
総務グループ	6				3	2	11
協働推進グループ	5						5
単独地区市民センター(2)	6				4	2	12
地区市民センター兼公民館(20)	40	2			43	7	92
単独公民館(10)			10		11	10	31
ふれあいセンター(1)			1		3	1	5
計	58	2	11		64	22	157

※育児休業中職員を含む。

2 事務分掌

グループ・役職	事務内容
総務グループ	○地域振興政策の総合的企画及び調整に関すること ○地区市民センターに関すること ○コミュニティセンターに関すること ○自治会に関すること ○神戸地区との連絡調整に関すること ○公民館及びふれあいセンターに関すること ○鈴鹿市公民館運営審議会に関すること
協働推進グループ	○協働の推進に関すること ○地域づくり協議会に関すること ○市民活動団体に関すること

3 令和8年度主要事業

項　　目	概　　要	備　　考
公民館管理運営事業費	市内に30ある公民館を管理するとともに、円滑な運営を行う。 (1) 公民館等の管理・運営 (2) 公民館等の施設維持管理に係る修繕 (3) 生涯学習事業（森と緑の生涯学習事業を含む）の実施 (4) その他 【予算額】　190,863千円	実行計画 3 － ① 3 － ② 3 － ③
ふれあいセンター管理運営事業費	ふれあいセンターの円滑な運営を行う。 (1) ふれあいセンターの管理・運営 (2) ふれあいセンターの施設維持管理に係る修繕 (4) 生涯学習事業の実施 (3) その他 【予算額】　13,584千円	実行計画 3 － ① 3 － ② 3 － ③

社 会 教 育 基 本 計 画 2031　令和６年度～９年度

資料１

令和8年度 実行計画

社会教育の目指す姿 「人と文化を育み、心豊かに過ごしていること」

市民のニーズにあわせた生涯学習の推進

1 市民が生涯にわたり主体的に学習活動に取り組めるよう、学習情報や学習機会の提供をする。

①学官連携による専門的な学習事業に加え、外部（地域社会の人材）からの講師を招き、多彩なジャンルの講座を展開し、市民のニーズを探りながら、幅広く学習機会を提供する。
②20歳で構成する実行委員会の企画運営による「二十歳のつどい」を実施し、主体性を育む。
③社会教育関係団体を支援し、地域の学習環境の充実を図る。
④こどもたちを社会全体で心豊かに育む環境づくりを推進するため、放課後子ども教室・土曜体験学習を開校する。
⑤PTA 家庭教育学級や公民館の乳幼児教室等において、保護者同士の交流や、家庭教育の悩みなどを話し合う、訪問型ワークショップを実施する。

指標：市が主催する生涯学習事業への参加者数（年間）

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
目標値	3,500 人	4,000 人	4,500 人	5,000 人
実績値	4,279 人	4,193人		

図書館等サービスによる読書活動の充実

2 市民が読書に魅力を感じ、知識や教養を深められるよう、貸出、複写、レファレンスといった図書館サービスの充実を図ります。

①図書館サービスに当たっては、利用者の課題解決の支援を図るため、次世代に継承する資料等、多様な情報資料を蓄積し、迅速な図書の照会や検索（レファレンス）を行う。
②多様化するニーズへの対応として、幅広くアンケートを実施し、意見集約した取組等により、図書館サービスの充実を図る。
③乳幼児（初めて本に触れる年代への本の紹介）から高齢者までのあらゆる年齢層、情報が不足する外国人、障がい者などへの来館可能となるサービスを充実させ、誰もが読書に親しめる場を提供する。
④図書館司書を通して学校図書館と連携し、若年層の読書離れを抑制する取組を行う。
⑤利用者の増加に向けて、デジタル技術を活用して図書館（江島分館含む）の利用案内や来館を促すイベント、展示などのＰＲのほか、利用環境の整備に向けた取組を進める。
⑥こどもの読書活動に当たっては、国・県が取り組む計画に合わせて、不読率の低減や、多様なこどもたちの読書機会の確保、こどもの視点に立った読書活動の推進等に取り組む。（対象年齢０歳～１８歳）
⑦家庭、地域、学校等が中心となり、社会全体で全てのこどもが読書活動の恩恵を受けられるようにするため、主体的な学びや読書への興味関心を促すための取り組みを展開する。

指標：図書貸出カード登録者の割合

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
目標値	24.2%	26.2%	28.2%	30.0%
実績値	23.0%	24.5%		

文化財の調査と保存

4 適正な文化財保護につなげるため、文化財の指定、登録等の追加指定、環境整備の実施、保存に関する周知をする。

①文化財の指定、登録について所有者からの申請があった場合には、法令に沿って適正な調査等の手続きを行う。
②文化財所有者及び管理者との連携を図り、長期的な保存に向けた管理を進める。
③文化財の適切な保存のため、環境整備を行う。
④文化財の指定や保存のため、鈴鹿市文化財保護審議会をはじめとする専門性のある各種協議会等との連携を図る。
⑤史跡等の規模や構造を明らかにするための調査を行い、文化財の保存を図る。
⑥開発行為等に伴う市内遺跡の調査を行い、文化財の保存を図る。

指標：文化財の保護措置件数（年間）

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
目標値	45件	46件	47件	48件
実績値	51 件	50 件		

公民館の充実と適切な管理運営

3 地域住民のニーズに応える様々な講座や教室、サークル活動を通じ、学びと交流の拠点として、地域の活性化に貢献する。

①こどもから高齢者まで、あらゆる世代が参加でき様々な講座や教室の充実を図る。
②地域住民が自主的に行うサークル活動や文化祭等の場を提供し、地域の活性化を図る。
③ニーズに合わせた公民館施設の役割やあり方を見直し、計画的な維持管理を進め、施設の長寿命化を図る。

指標：公民館などで行っている学習活動への参加者数（年間）

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
目標値	279,000 人	279,000 人	279,000 人	279,000 人
実績値	199,533 人	274,757 人		



文化財の公開と活用

5 文化財を地域のまちおこしや観光等に広く活用できるよう、文化財に触れる機会を創出する記念館、資料館、博物館等の公開及び啓発事業の充実を図る。

①各記念館・資料館や博物館で開催する企画展等について、魅力ある展示内容の充実を図る。
②考古博物館や隣接する歴史公園を活用し、こどもたちが参加できるイベントの開催を行う。
③来館者の増加を図るため、SNS などの多様な媒体を活用し、各記念館・資料館や考古博物館の情報発信を行う。
④市が保管する郷土資料のデータベース化作業を進め、資料の公開を行う。
⑤埋蔵文化財について、ウェブサイト上での情報発信を行い、広く市民が利用しやすい環境整備を図る。

指標：郷土資料・博物館資料等公開施設の来館者数及び啓発事業などへの参加者数（年間）

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
目標値	24,700 人	28,400 人	32,000 人	32,500 人
実績値	20,837 人	25,334 人		

※指標と目標値は、「鈴鹿市総合計画 2031」と同じものを用いています。